

体育女子

単位数	2単位	対象学年	3学年（女子）	対象コース・クラス	全クラス
使用教科書	スポーツルール 大修館書店	副教材等	現代高等保健体育 ノート 大修館書店		

1. 学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができ、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康、安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ・運動の楽しさや喜びを深く味わい自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて解説する。
- ・発達の段階や運動の特性や魅力に応じて、合理的に運動を実践する。
- ・技能を高めたり、作戦を立てたりするなどの過程を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を指し取り組む。
- ・健康・安全を確保し、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、生涯を通じて継続的な運動ができるように、身体活動の意義や、運動の特性、各種目のルール及び審判法などに触れるよう配慮する。

3. 学習上のメッセージ

- ①実技教科である体育はまず、安全に実技が行える服装、心構え、身体の準備が大切です。そのため、各時間必ず行われる準備運動、補強運動には遅れることなく参加し、その日に行う運動についての諸注意を必ず聞いてください。
- ②体育は小学校の頃から得意な人、苦手な人が大きく分かれる教科です。得意な人は、より高度な技術と理論を身につけるように、苦手な人は、少しでも努力し、今まで出来なかった実技が少しでもできるようになるよう取り組んで下さい。
- ③集団行動は集団生活で必要かつ大切なものです。体育の授業だけでなく、学校生活全般でも継続して実践しましょう。球技は、チーム・ペアでの役割・責任を果たすことと協力することを学びます。陸上競技・なわとびは、自己の能力に応じて運動技能・記録を高め、新たな技能の習得を目指します。持久走(マラソン)は、自己の持久力を高めるとともに、克服型スポーツとしてやり遂げる達成感を味わったり、自分自身に自信をつけたりし、積極的に授業に参加しましょう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）


評価は次の3つの観点から行う。

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

- ①各種目で、実技試験を行う。
 - ②授業の遅刻・忘れ物・出欠席の状況。
 - ③授業への積極的な参加。
 - ④体育理論の小テスト実施。
 - ⑤広島桜が丘高校の生徒としての規則に則った服装で取り組むこと。
- 1年間の評点は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
体づくり運動 集団行動	ラジオ体操 集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の主な行動様式を身に付け、機敏、的確に行動する。 ・仲間との活動を通して、交流を深める。 ・多彩で手軽な運動や律動的な運動を通じ、体力を高める。
新体力テスト	新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の体力・運動能力を知り、今後の活動に生かす。
体育理論	生涯スポーツの見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたってスポーツの果たす役割が重視されていることを理解する。
球技	ネット型	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の技術を理解し、球技の楽しさを経験する。 ・基礎基本の技術を習得し、ゲームが進められるようにする ・ゲームを通して、楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。
体育理論	ライフスタイルに応じたスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルの中にどのような位置づけでスポーツを取り入れるか考える。
1 学期期末試験		
集団行動	集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の主な行動様式を身に付け、機敏、的確に行動する。 ・仲間との活動を通して、交流を深める。
体育理論	日本のスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方自治体は、スポーツ振興の為に様々な物を提供していることを理解し、地域の一人としてスポーツ環境を利用できることを理解する。
球技	ゴール型 ネット型 ベースボール型	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・ゲームなどを通して、その種目の楽しさを味わいながら、個人やチームの課題を設定し、その解決に向けての練習を工夫する。 ・個人やチームの能力に応じて、持っている技能を最大限活用したゲームを行う。
体育理論	スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツは様々な側面で環境にも大きな影響を与えていることを知り、今後どのように環境と調和していけばよいのか考える。
2 学期期末試験		
軽スポーツ	軽スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、個人やチームの能力を把握する。 ・個人やチームの能力に応じて、持っている技能を最大限活用したゲームを行う。
卒業試験		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中
学習の手引き シラバス説明															
実技	集団行動														
	ラジオ体操														
	新体カテスト														
	体育祭練習														
運動理論	生涯スポーツの見方・考え方														
実技	バスケットボール														
運動理論	ライフスタイルに応じたスポーツ														
1 学期期末試験															
運動理論	日本のスポーツ振興														
実技	ゴール型 ネット型 ベースボール型														
運動理論	スポーツと環境														
2 学期期末試験															
実技	軽スポーツ														
卒業試験															
凡例	 授業計画	行事等		期末試験				期末試験				卒業試験			